

授業科目の区分等：専門教育科目 経営学科 展開科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
工藤 幸一			
B (経営学科)	S (専門科目)	BA (経営)	204 (中級科目)

授業のねらい (概要)	経営に必要となる経営組織の概念や理論に関する基礎的な知識の修得と組織運営の実際や課題について理解させることを目的とする。組織における行動に関するミクロ的視点及び組織の構造とシステムに関するマクロ的視点の両側面から、現代社会における経営組織の活動の背後にある意味について考察するとともに、組織の中の個人、組織の中の集団、組織構造、組織文化、組織変革に関する様々な事例を取り上げ、多面的かつ批判的に考察する。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】講義内容、履修上の注意事項に関するガイダンス 予習 (時間) : シラバスを読み講義内容を理解しておく。(120) 復習 (時間) : 自分の時間割編成を考え履修するかを決める。(120)</p> <p>第2回 【遠隔】経営組織の基礎概念 組織の定義・編成原理 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第3回 【遠隔】組織の構造 ライン組織とファンクショナル組織 ライン・スタッフ組織 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第4回 【遠隔】組織の構造 職能部門制組織 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第5回 組織の構造 事業部制組織 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第6回 【課題】組織運営 組織の中の人間行動 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第7回 組織運営 コミュニケーション論 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第8回 【課題】組織運営 リーダーシップ 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第9回 組織運営 経営理念と組織文化 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第10回 組織運営 人の配置・育成・選抜 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第11回 組織政策 環境適応 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第12回 組織政策 組織変革 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第13回 【課題】組織政策 管理者の役割 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第14回 協同システムとしての組織の発展 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : 配布資料及びノートの見直し (120)</p> <p>第15回 まとめ 予習 (時間) : 関連配布資料を読む (120) 復習 (時間) : これまでの配布資料及びノートの見直し (120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP(経営学科)の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>1. 経営学の専門知識を持ち、組織全体を見渡す能力</p> <p>【身に付くスキル】 職業倫理観・協働力</p>
到達目標	組織の構造を理解し「組織で働くこと」の意味や「自分の働き方」を自ら考えられるようになること。そして自分が社会人として企業人として組織に関わるようになった時に自身が組織のリーダーになった際、どのようにメンバーとの関係を構築し、維持・発展させれば良いのかが分かるようになること。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	必要に応じて講義終了前に講義内容のミニレポートを書き提出してもらい理解度を確認する。提出物に関しては授業の中で適宜取り上げる。
履修上の注意	講義の進め方、単位認定試験に関してはガイダンスにおいて説明するが、毎回の講義への出席が絶対条件とな

	る。テキストは指定しないので板書とケース・スタディーを中心とした解説をおこなうので講義ノートを作成し、これを持ち込み試験に対応してほしい。講義ノートの作成を負担に感じる学生がいるようであるが個人差があるので履修の際は注意してほしい。選択科目であるから意欲ある学生が受講するものとして講義を進める。私語は厳禁であり退室させることもあるので注意すること。講義中の携帯電話の使用は厳禁である。電源を切って入室すること。遅刻入室は20分以内とする。
成績評価の方法・基準	①講義内容確認のミニレポート (20%) ②期末試験は試験実施時間90分の論述形式の筆記試験 (80%) を行う予定であるが、受講者の人数によってはレポート提出 (80%) による成績評価も考えている。
教科書	
参考書・教材	【参考書】日経文庫 経営学入門シリーズ 経営組織 著者名：金井壽宏 出版社：日本経済新聞社 発行年：2012年 価格：860円
備考	講義科目 2020年度は、6、8、13回を課題研究として学修する。 第 6回 課題研究についての具体的内容やレポート提出の指示は授業時に行う。全体で330分の学習を想定している。 第 8回 第 6回同様の実施とする。全体で330分の学習を想定している。全体で330分の学習を想定している。 第13回 第 6回同様の実施とする。全体で330分の学習を想定している。全体で330分の学習を想定している。 ※「定期試験」は、本学の感染状況への対応を踏まえてレポートで代替えすることがある。
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyの併用。